

グループ内のIT資産をリアルタイムに可視化し ダッシュボードで管理業務を圧倒的に効率化



双日株式会社

業種

卸売業

従業員数

単体:2,551人、連結:22,422人
(2023年12月31日時点)

所在地

東京都千代田区

Taniumの導入効果

- ・グループ各社のIT資産をダッシュボードでリアルタイムに可視化
- ・端末の状態確認から対処にかかる時間を半減するなど、業務を大幅に効率化
- ・エンタープライズサービスの活用でTaniumの導入・運用を内製化しコストを抑制

国内外400社以上の連結子会社を有する総合商社「双日株式会社」では、グループ共通のIT資産管理ツールを用いて、IT資産管理の効率化を実現した。

IT資産管理業務の課題

双日株式会社は、2024～2026年度を期間とする「中期経営計画 2026 基本方針」を策定して、今後の成長戦略を掲げている。その成長戦略の手段の1つである事業投資について、2つの課題を抱えていた。セキュリティ・デジタル推進課 課長の土屋純平氏は「1つ目は、事業投資の際に投資先のIT資産を効率的に把握することでした。弊社では双日グループが満たすべきセキュリティ基準を定めており、全ての連結子会社が遵守することを求めています。しかし、人手による管理は人的リソースを逼迫し、正確な情報を集めることに時間を要していました。2つ目の課題は、連結子会社全体のIT資産の運用を効率化することでした。弊社では、連結子会社各社のIT資産を管理する際に、各社にヒアリングをしていました。しかし、連結子会社含む従業員は20,000人を超えており、IT資産を手手で管理することに時間と手間がかかり、管理する本社と事業会社の双方にとって、大きな負担になっていました」と振り返る。

運用の内製化、IT資産のリアルタイムな可視化を実現

このような状況下、双日株式会社では新規事業投資や日々の運用業務において、状況をリアルタイムに可視化することで、IT資産管理を効率化する方法を模索していた。加えて、国内外400社以上の連結子会社に対応できるよう、グローバル規模で使用でき、ガバナンスを強化するため、IT子会社で運用を内製化することができるソリューションを検討し、Taniumの導入を決定した。

導入・運用の内製化を実現するために、タニウムのコンサルタントが導入・運用をサポートするエンタープライズサービスを採用し、双日IT子会社のリソースだけで導入・運用・保守を内製化することができた。国内外の投資先のIT資産にTaniumをインストールすることでリアルタイムに情報を可視化し、得られた情報を基に、双日グループが求めるセキュリティ要件を満たすためのIT投資計画を企画・実施することが可能となったと、土屋氏は話す。

デジタル推進第二部 セキュリティ・デジタル推進課 田村隆至氏は「日々の運用業務では、従来行っていた国内外の連結子会社への説明や、メールやExcelでの管理資料のやり取りが不要になり、リアルタイムに得た情報に基づいて対策を講じられるようになりました。また、Taniumで取得した情報を用いてグループ会社と面談を行い、今後のIT投資戦略や改善策について指導を行うことにも活用しています。こうした取り組みにより、グローバル規模で管理業務を効率化し、グループ全体の施策に役立てています。Taniumを導入した事業会社からも、IT資産の管理業務の負担が軽減されたとの声も届いております」と話す。

IT資産をリアルタイムに可視化し、守るべきものを把握することが、情報セキュリティの第一歩となる。双日株式会社では今後もさらにTaniumを活用し、セキュリティ対策を強化することを検討している。



デジタル推進第二部 セキュリティ・デジタル推進課
課長 土屋 純平氏



デジタル推進第二部 セキュリティ・デジタル推進課
田村 隆至氏

※所属・役職等はインタビュー当時の情報です。